

## 2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	建築生産自動化小委員会	主 査 名：前田 純一郎 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会(建築生産運営委員会)	委員長名：田中 享二 主 査 名：三根 直人
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築工事における次世代ロボット技術の活用に関する調査研究を行う。</li> <li>・ 第 16 回建築施工ロボットシンポジウムの企画・開催。</li> <li>・ 国際建設ロボットシンポジウム 2006 の企画(土木学会、日本ロボット学会など 6 学協会と併催：2006 年 10 月 3～5 日開催予定)</li> </ul>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	新井一彦(鹿島)、井上文宏(大林組)、岩波光一(戸田建設)、椎名國雄(東海大学)、 玉木欽也(青山学院大学)、寺井達夫(千葉工業大学)、星野春夫(竹中工務店)、前田純一郎 (清水建設)、眞方山美穂(建築研究所)、三浦延恭(国土館大学)、室英治(芝浦工業大学)、 森正人(大成建設)、吉武亮二(フジタ) 13 名 五十音順	
設置 WG (WG 名：目的)	WG 名称：次世代ロボット活用技術に関するWG 目 的：次世代ロボット技術の有効活用に関する調査研究を行う。	
2005 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	10 回(年度内計画を含む) (WG は、11 回開催)
刊行物	1. 建築工事における次世代ロボットの活用技術に関する調査研究報告書
講習会	無し
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 第 16 回建築施工ロボットシンポジウム 参加者数 63 名 第 16 回建築施工ロボットシンポジウム予稿集
大会研究集会	無し
対外的意見表明・パブリックコメント等	無し
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. ワーキンググループで検討した結果を取り纏め、上記の調査研究報告書として完成させた。先端ロボット技術を分析評価して、建築生産のニーズに結びつけ、次世代建築用ロボットテーマ案として 10 数件の提言を纏めた。</p> <p>2. シンポジウムの企画・開催を予定通り実施した。参加者も計画数を達成し、内容的にも、ロボットや自動化機械の開発、自動化施工システムの開発と適用、有害物除去や検査・試験工程への適用など、多岐に亘る分野に研究発表が寄せられた。また、情報化技術と建築や建築施工に関する特別講演も行われ、充実したものであったと評価できる。</p> <p>3. 国際シンポジウムに関しては、共催の他学協会と連携して準備作業を行った。</p> <p>4. 韓国建設管理学会の自動化に関する調査団と意見交換を行い、今後も連携を取って調査研究を進めることを確認した。</p>
委員会活動の問題点・課題	1. 2.

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。